



スマートアシスト

スマートアシストは、お客様の安全運転を前提としたシステムです。
システムに頼った運転は行わず、安全運転を心がけてください。

- 衝突回避支援ブレーキ機能は、対車両の場合は、約4～80km/hで走行中、先行車との衝突の危険性が高まったとシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速して衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対歩行者の場合は、約4～50km/hで走行中、前方にいる歩行者との衝突の危険性が高まったとシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速して衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。なお、二輪車や電柱、壁などにも作動する場合がありますが、これらへの衝突を回避することを目的としていません。
- 衝突警報機能は、対車両の場合は、約4～100km/hで走行中、先行車と衝突の危険性があるとシステムが判断した場合にブザーとメーター表示でお知らせします。対歩行者の場合は、約4～50km/hで走行中、前方の歩行者と衝突の危険性があるとシステムが判断した場合にブザーとメーター表示でお知らせします。
- 車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能は、約60km/h以上で走行中、方向指示灯を使用せずに車線を逸脱しそうになるとシステムが判断した場合、メーター表示でお知らせするとともに、車線内に戻すようハンドル操作をアシストします。
- 誤発進抑制制御機能（前方・後方）は、前方約4m以内に障害物等があることをステレオカメラが検知している時、前方・後方約2～約3m先までに壁などの障害物等があることをソナーセンサー（※1）が検知している時に、シフトポジションを「前進」または「後退」にしたままブレーキペダルと間違えるなどして必要以上にアクセルペダルを踏み込んだ場合、急発進を抑制します。
（※1）前方については、前方ソナーセンサー搭載車の場合のみ
- ADB（アダプティブドライビングビーム）は、約30km/h以上でハイビームで走行中、対向車を検知し操作することなく部分的に遮光します。
- スマートアシストの各機能は、ドライバーの状況や、認識状態、路面状態、気象等の条件によっては、システムが作動しない場合があります。
- 詳しくは販売会社にお問い合わせください。